防災・安全ニュース

VOL．３５

危機管理課

２０２６年３月号

電話：６５－１２８２

今月は、春のお彼岸です。お墓参りでは、今月のトピックにありますが、花粉症の季節ですので敏感な方は対策にご留意ください。

では、今月号もよろしくお願いいたします。今月号のトピックスは次のとおりです。

・愛媛県地震被害想定調査（最終報告）
・右直事故の防止（人の目の特性）
・花粉症の予防
・体験型「にいはま防災フェア２０２６」

愛媛県地震被害想定調査（最終報告）

15 年前の 2011 年３月 11 日は、東日本大震災が発生した日です。その後も、2016 年には熊本地震が、2018 年には北海道胆振東部地震が、2024 年には能登半島地震が発生するなどしています。

そのような中、先月 16 日に愛媛県の地震被害想定調査の最終報告の概要が公表されました。調査は、①南海トラフ地震、②安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震、③中央構造線断層帯の地震について行っていますが、現時点では県内市町ごとの被害の数値は南海トラフ地震のみ公表されています。

被害の具体的数値をご覧になる際に皆さんに意識していただきたいことは、数値に一喜一憂することなく、被害が必ずあってそれは自分かも知れないと考えて備えることです。事前の備えをよろしくお願いします。

愛媛県地震被害想定調査結果について（愛媛県 HP）

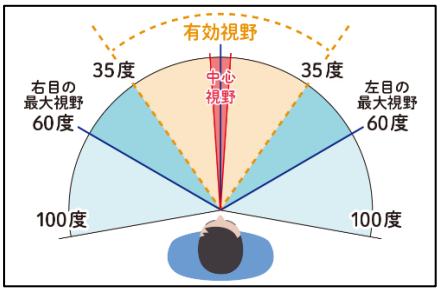
→ https://www.pref.ehime.jp/page/135020.html

右直事故の防止（人の目の特性）

右直事故とは、交差点などで右折する車両と対向する直進車が衝突する事故です。その原因の多くが、直進側のバイクの見落としや過度なスピード、信号無視、右折のタイミングの誤りなどです。

直進側のバイクの見落としには、トラックなどの陰になっていて見えにくい場合もありますが、人間の目の特徴である「中心視野」の特性によって起こることもあります。

中心視野と有効視野（ＨＯＮＤＡ HP）



人の目の視野には形や色がはっきり認識できる中心視の領域である「中心視野」、中心視ほどではないが識別できる「有効視野」があって、前者は１～２°ほど、後者は 70° ほどしかありません。

このため、右折時に直近の直進車だけに注意を向けていると、直進車の後方から近づいてくるバイクなどは見落としがち、かつ、車に比べて小さいことから遠方に感じますので、右直事故の防止には、意識をして直進車の後方にも視線を向けてしっかり見ることが必要です。

視覚と右折事故を考える中心視と周辺視野（ＨＯＮＤＡ HP）

→ https://global.honda/jp/safetyinfo/think_safety/vol14/vision/

花粉症の予防

花粉は１年を通じて飛散していますが、関西では、毎年２月上旬から４月下旬にかけてスギやヒノキの花粉飛散量が最も多い時期ですので、既に花粉症でつらい思いをされている方もいらっしゃると思います。花粉症は、一度症状が出てしまうと鼻の粘膜がどんどん敏感になり症状が強く出やすくなります。このため、毎年同じシーズンに症状が出る方は、薬による予防治療が効果的ですので医師の処方を受けるなどして予防に努められてください。

そのほか、すぐできる代表的な対策は、ご存じのことと思います

が、次のような対策を実践して症状を軽くするか否かは皆さんの行動にかかっています。

① メガネ、マスクを着用する。
② 帰宅時は衣類の花粉を払って、家の中に持ち込まない。
③ 外出後は、手洗い、うがい、洗顔などで花粉を落とす。
④ 洗濯物やふとんを外に干さない。
⑤ 加湿器を用いて粘膜の保護や花粉の舞い上がりを防ぐ。

新居浜の花粉飛散情報（十全総合病院 HP）
→ https://jyuzen.jp/visitors/page-1118/

体験型「にいはま防災フェア２０２６」

危機管理課は、防災を学び「自助・共助」による防災力を高めることを目的として、消防防災合同庁舎（市役所西側）及び同周辺駐車場で体験型「にいはま防災フェア２０２６」を３月14日（土）09:00～15:20（予定）の間で開催します。本フェアは、防災センターの体験学習を除き、展示車両などの見学はどなたでも可能です。

また、当日に限り土石流３Ｄシアター及び降雨体験（雨具と長靴を持参してください。）の装置も配置しますので、お誘いあわせの上、是非お越しください。

体験型「にいはま防災フェア２０２６」（新居浜市 HP）
→ https://www.city.niihama.lg.jp/soshiki/kikikanri/bousais.html

【編集後記】

今月も防災・安全ニュースを最後までご覧いただきまして、ありがとうございました。

今月５日からＷＢＣ（ワールド・ベースボール・クラシック）の本戦が開始となり、日本にとっては前回 2023 年の優勝に続く連覇をかけた戦いとなります。

日本はまず POOL C（東京プール）でオーストラリア、韓国、チェコ、チャイニーズ・タイペイと対戦し、ここで２位以内に入れば準々決勝へ進み、勝ち残れば優勝決定戦の３月 17 日までの短期決戦です。試合の模様は、Netflix 独占放送なのが残念ですが、侍ジャパンの活躍をお祈りしています。 （N.O）